

平成27年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成28年3月

長崎市（長崎県）

○計画期間：平成27年4月～平成32年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成27年度終了時点（平成28年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成27年4月以降、認定基本計画に基づき、「長崎特有の歴史と文化を活かした、魅力と活力のあるまちづくり」をテーマに全67の事業を進めている。

本市においては、平成27年7月に中心市街地に隣接する旧グラバー住宅などを構成資産とした「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録され、また、長崎港においては、平成27年に過去最多となる131隻のクルーズ船が寄港するなど、中心市街地の活性化を加速させる動きがみられ、クルーズ船寄港時には浜町をはじめ各商店街においても多くの観光客で賑わいを見せている。

また、中心市街地の主要観光地の一つである眼鏡橋周辺では、民間主導による観光案内所がオープンするなど、少しずつ民間投資の動きが活発になってきている。

そのような中、長崎市中心市街地活性化基本計画の主要事業の一つである新市立病院建設事業においては、平成26年2月にⅠ期棟が開院して以降、28年2月にⅡ期棟が完成し、翌3月に市民病院と成人病センター両院の機能を集約した新たな病院としての運用を開始したところであり、開院以降、年間外来実績数も年々増加している。また、出島表門橋架橋整備事業については、周辺の中島川公園整備事業と併せた整備を進めており、平成27年度末には平成29年度の完成を目指し工事に着手したところであり、出島和蘭商館跡復元事業についても平成28年10月には復元建造物6棟が完成を迎える予定となっており、賑わいの創出に大きく寄与することが期待される。

一方、浜町地区市街地再開発事業においては、平成27年1月に準備組合が設立されて以降、平成28年3月に推進計画の策定がなされ、また、新大工町地区市街地再開発事業においては平成27年7月に都市計画決定が告示され、基本設計に着手するなど、事業の進捗が図られているところであるが、現時点では歩行者通行量の増加など中心市街地活性化へ直接的に寄与している状況にはない。しかしながら、両地区においては新たな賑わいの創出へ繋がるソフト的取り組みも積極的に展開されているところであり、今後再開発事業が進むにつれて、徐々に周辺への波及効果が現れることが期待される。

2. 平成 27 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

当協議会では平成 27 年度に 2 回の協議会を開催したほか、支援制度説明会 1 回、外部講師を招いての勉強会を 2 回開催、また、同じく新大工町・浜町両地における実地指導を各 1 回実施するとともに、先進地視察を実施するなどの活動を行い、目標の達成に向け情報の収集・共有、環境の整備に努めた。

認定計画期間 5 年の初年度であり、計画事業の多くの終了時期が平成 30 年代以降に設定され、市民病院などを除くと完成した事業が少ない中、中心市街地の目標指標は当該期間における進捗として順調であると評価する。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
まちなかのにぎわいの創出	一日当たりの歩行者通行量 (人/日)	平日: 133,211 人 休日: 125,438 人 (H26 年度)	平日: 140,100 人 休日: 131,700 人 (H31 年度)	平日: 133,677 人 休日: 129,809 人 (H27 年度)	-	①
商業の活性化	中心市街地における小売業年間商品販売額 (億円/年)	1,537 億円 (H26 推計値)	1,570 億円 (H31)	1,592 億円 (H26 実数値)	-	①
交流人口の拡大	主要観光施設入場者数 (人/年)	857,898 人 (H25 年度)	931,400 人 (H31 年度)	871,833 人 (H27 年度)	-	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

① 1日当たりの歩行者通行量（16地点の合計）について

・新市立病院建設事業においては、平成26年にI期棟、28年にII期棟が完成し、今後駐車場棟の完成を迎えるなど事業の進捗が図られているところである。一方、新大工町地区および浜町地区の市街地再開発事業についても、今後の事業進捗が図られるよう支援を行うことにより、目標の達成を見込んでいる。

②小売業年間商品販売額

・平成26年商業統計調査により最新の実数値を確認したところ、基準値として設定していた平成26年推計値を上回る結果となった。右肩下りの傾向であることには変わりなく、楽観視できる状況にはないが、引続き事業の進捗状況を検証しながら、着実に取り組みを進めることで、目標は達成するものと見込む。

③主要観光施設入場者数

・出島和蘭商館跡復元事業においては平成28年10月に復元建造物6棟が完成予定であり、出島表門橋架橋整備事業では平成29年度に表門橋が供用開始を迎える予定であるなど、概ね当初の計画どおりに事業が進捗していることから、年次計画で進められているまちなか回遊路整備事業などの効果も含めて、目標は達成するものと見込む。

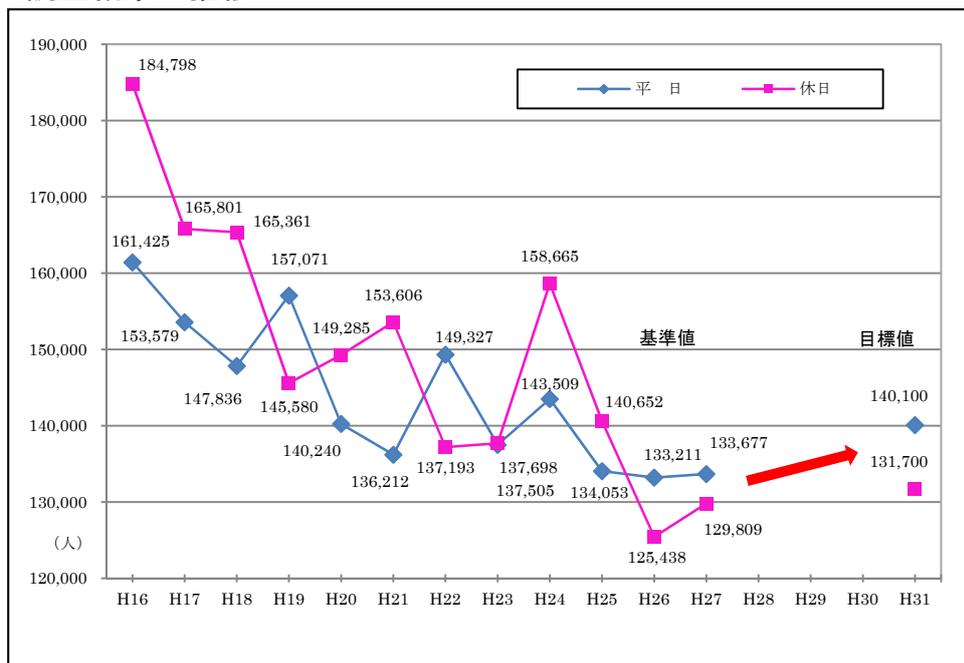
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

計画策定初年度のため、前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「1日当たりの歩行者通行量」※目標設定の考え方基本計画 P56～P59 参照

●調査結果の推移



年	(単位：人)
H26	平日：133,211 休日：125,438 (基準年値)
H27	平日：133,677 休日：129,809
H28	
H29	
H30	
H31	平日：140,100 休日：131,700 (目標値)

※調査方法：歩行者、毎年7月上旬の金曜日と日曜日の2日間、16地点において10時～18時で計測

※調査月：毎年7月

※調査主体：長崎商工会議所

※調査対象：中心市街地16地点（浜市商店街、観光通り商店街ほか）における歩行者通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 新大工町地区市街地再開発事業（新大工町地区市街地再開発準備組合）

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の商業地である新大工町地区の中心的な商業施設を市街地再開発事業により更新することで、地域活力の維持向上と賑わい再生を図る。
事業効果及び進捗状況	平成26年1月に準備組合を設立。その後、平成27年7月に市街地再開発事業の都市計画の決定が告示され、今後、本組合設立に向けた手続きが進められる。 事業完成による交流人口の拡大により、平日約550人、休日約300人の歩行者通行量の増加を見込んでいる。

②. 浜町地区市街地再開発事業（民間事業者）

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	浜市商店街振興組合のエリアにおける、再開発やテナントミックスを踏まえたまちづくり構想に基づく、第一種市街地再開発事業による商業・住宅・駐車場の整備を行いまちなか全体への集客を促進する。
事業効果及び	平成27年1月に準備組合を設立し、平成27年度は都市計画の決定

進捗状況	<p>に向けて推進計画の策定を行うなど、事業の実施に向けた検討が進められている。</p> <p>事業完成による交流人口の拡大により、平日、休日ともに近接する6か所の調査地点において合計約6,000人の歩行者通行量の増加を見込んでいる。</p>
------	---

③. 新市立病院建設事業（長崎市）

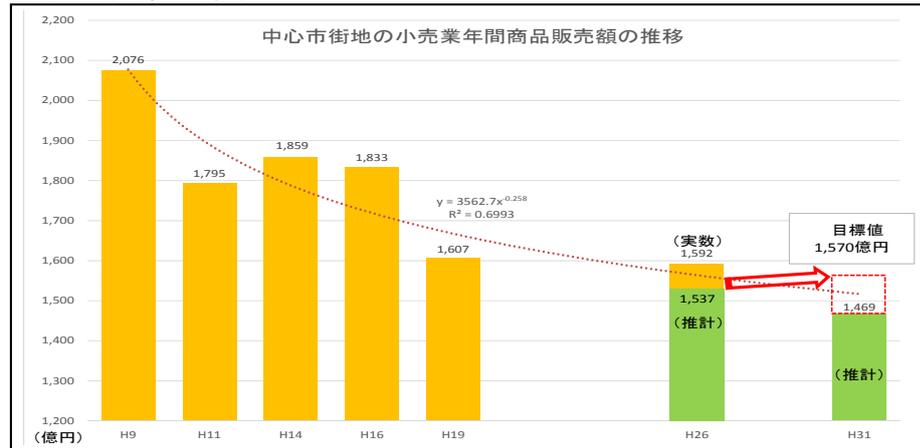
事業完了時期	平成20～28年度【実施中】
事業概要	老朽化、狭あい化した市民病院及び成人病センターを廃止・統合し、救急医療の充実、地域の医療従事者の教育支援及び地域医療連携強化を図るため、新市立病院を建設する。
事業効果及び進捗状況	<p>平成26年2月にI期棟が開院。平成28年2月にII期棟が完成し、翌3月に市民病院と成人病センター両院の機能を集約した新たな病院としての運用を開始した。</p> <p>現在駐車場棟完成に向け事業の進捗を図っているところであり、全面開院により、平日に350人の歩行者通行量の増加を見込んでいる。</p>

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業のうち新市立病院建設事業においては、平成26年にI期棟、28年にII期棟が完成し、開院以降、年間外来実績数も年々増加している。また、「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録されたことや、長崎港におけるクルーズ船の寄港数の増加なども相まって、平成27年度調査結果においては、歩行者通行量が平日休日ともに増加する結果となった。今後、新大工町地区および浜町地区の市街地再開発事業についても、今後の事業進捗が図られるよう支援を行ない、それと併せてそのほかの中心市街地活性化に寄与する各種事業の進捗を図り、目標の達成にむけて最大限努力していく。

「小売業年間商品販売額」 ※目標設定の考え方基本計画 P60～P68 参照

●調査結果の推移



年	(単位: 億円)
H26	1,537 (基準年値)
	1,592 (実数値)
H27	
H28	
H29	
H30	
H31	1,570 (目標値)

※調査方法: 商業統計調査

※調査月: 実施年

※調査主体: 経済産業省

※調査対象: 卸売業・小売業を営む事業所及び企業

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 交流拠点施設整備事業 (長崎市)

事業完了時期	平成27～31年度【実施中】
事業概要	新長崎駅の隣接地において、大規模な学会や会議、地域住民が交流できるイベントなどを開催できる交流拠点施設を建設し、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図る。
事業効果及び進捗状況	平成27年3月に交流拠点施設用地 (約 24,000 m ²) を取得し、その活用方策について、平成28年2月に「MICE 機能を中核とした複合施設」とする活用方針を公表した。 この活用方針に基づき、更なる事業費抑制に向けた検討や、オール長崎でのMICE誘致に向けた体制づくりを進めていくこととしている。 事業完成による交流人口の拡大の効果として、約 20 億円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。

②. 新大工町地区市街地再開発事業 (新大工町地区市街地再開発準備組合)

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の商業地である新大工町地区の中心的な商業施設を市街地再開発事業により更新することで、地域活力の維持向上と賑わい再生を図る。
事業効果及び進捗状況	平成26年1月に準備組合を設立。その後、平成27年7月に市街地再開発事業の都市計画の決定が告示され、今後、本組合設立に向けた手続きが進められる。 事業完成による周辺への波及効果も含め、約 27 億円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。

③. 浜町地区市街地再開発事業（民間事業者）

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	浜市商店街振興組合のエリアにおける、再開発やテナントミックスを踏まえたまちづくり構想に基づく、第一種市街地再開発事業による商業・住宅・駐車場の整備を行いまちなか全体への集客を促進する。
事業効果及び進捗状況	平成27年1月に準備組合を設立し、平成27年度は都市計画の決定に向けて推進計画の策定を行うなど、事業の実施に向けた検討が進められている。 事業完成による周辺への波及効果も含め、約65億円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。

④. まちなか商店街誘客事業（長崎市）

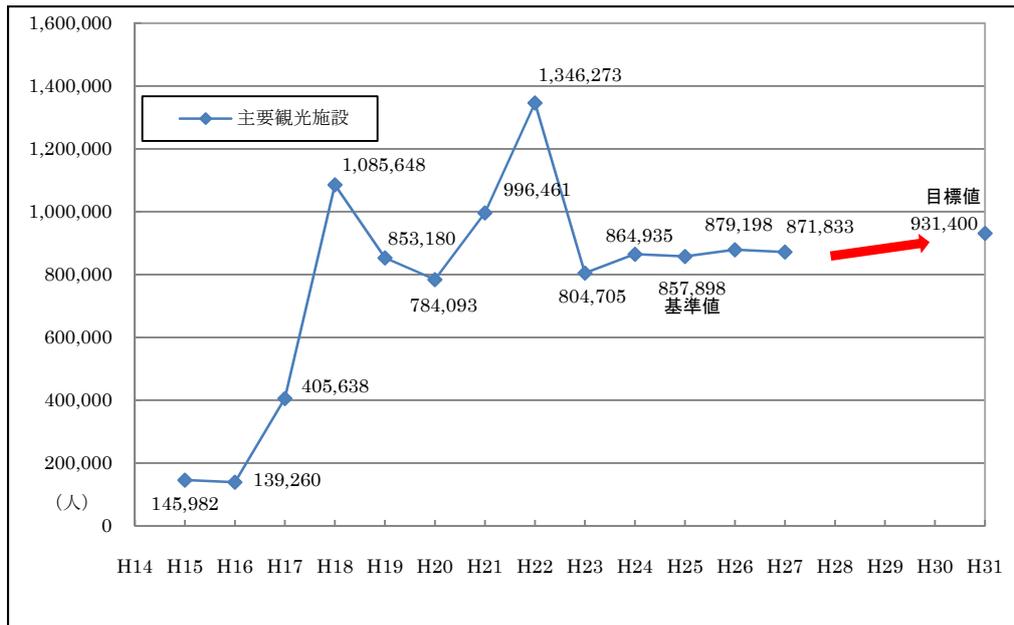
事業完了時期	平成27年度～【実施中】
事業概要	中心市街地活性化基本計画エリア内において、商店街等が行う外国人観光客等の誘客促進への取り組みを支援する。
事業効果及び進捗状況	初年度である平成27年度は、外国人観光客等の誘客に係る現状と課題を把握し、行政として必要かつ効果的な施策を検討するため、エリア内の小売店舗等を対象とする調査事業を実施した。 この結果を受けて、平成28年度は小規模事業者を対象とした補助事業を実施するほか、計画期間中の継続した取り組みにより、外国人観光客等の滞在時間延長を図ることで約9億円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成26年商業統計調査により確認した最新の実数値は、基準値として設定していた平成26年推計値を上回っており、目標達成は可能であると思われる。今後も、民間主導の主要事業である新大工町地区および浜町地区の市街地再開発事業を支援し、交流拠点施設整備事業やまちなか商店街誘客事業による観光客等の消費拡大に向けた取り組みを着実に実施することにより、確実に目標が達成できるよう取り組みを進める。

「主要観光施設入場者数」 ※目標設定の考え方基本計画 P69～P72 参照

●調査結果の推移



年	(単位：人)
H25	857,898 (基準年値)
H26	879,198
H27	871,833
H28	
H29	
H30	
H31	931,400 (目標値)

※調査方法：市内の主要観光施設において毎月計測

※調査月：毎月

※調査主体：長崎県・長崎市

※調査対象：主要観光施設の利用者数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 出島和蘭商館跡復元事業（長崎市）

事業完了時期	平成8～31年度【実施中】
事業概要	19世紀初頭の出島の復元を目指し、第Ⅰ期から第Ⅳ期に分けて復元事業に取り組んでいる。現在は第Ⅲ期事業の復元建造物6棟の建設を行っているところであり、これらの完成により当時の様子がさらによみがえり、これまで以上に観光客の増加と賑わいの創出が図られる。
事業効果及び進捗状況	平成26年8月に組頭部屋及び銅蔵をはじめとする第Ⅲ期復元建造物6棟の建築工事に着手したところであり、平成28年10月の供用開始を予定している。 施設完成後は、各種イベント等との効果と合わせて13,150人の施設入場者数の増加を見込んでいる。

②. 出島表門橋架橋整備事業（長崎市）

事業完了時期	平成25～29年度【実施中】
事業概要	鎖国時代における唯一の西洋との窓口であった出島と対岸の江戸町を結ぶ架け橋として象徴的な建造物である出島表門橋の整備を行う。
事業効果及び進捗状況	出島表門橋と中島川公園（出島対岸部分）の設計業務が平成27年11月に終了し、平成29年の完成を目指して今後架橋に向けた工事が

	<p>本格化する。</p> <p>完成時にはPR等を積極的に行い、事業完了後は53,000人の施設入場者数の増加を見込んでいる。</p>
--	--

③. まちなか回遊路整備事業（長崎市）

事業完了時期	平成25～34年度【実施中】
事業概要	歴史・文化・観光・商業など長崎固有の多様な魅力が詰まったまちなかを歩いて楽しいまちにするため、歩きやすさを確保しながら、まちの特徴に合わせた景観等に配慮した回遊路を整備する。
事業効果及び進捗状況	<p>平成27年度は、中島川・寺町エリアや銅座エリアにおいて計4路線の回遊路整備を実施し、回遊性を向上させる快適で安全な歩行空間が形成された。</p> <p>今後も年次計画により事業の進捗を図ることとしており、出島和蘭商館跡復元事業や出島表門橋架橋整備事業、誘導サイン整備事業などの各種事業との相乗的効果により、計画最終年度には、426,614人の施設入場者数を見込んでいる。</p>

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業である出島和蘭商館跡復元事業や出島表門橋架橋整備事業は概ね順調に進捗しており、目標達成は可能だと思われる。今後はまちなか回遊路整備事業や誘導サイン整備事業などとも合わせ、様々な団体との連携を図りながら地域の魅力向上の取り組みを実施することにより、確実に目標が達成できるよう取り組みを進める。